

◆ 今週のコメント

- インフルエンザの定点当たり報告数は、0.76(52例)で、第6週に1.0を下回った後、更に減少しています。第1週～第7週の間京都市衛生公害研究所でPCR検査を実施した55例のうち、39例からA型インフルエンザウイルスが検出され、そのすべてがAH1pdm(新型)でした(16例は陰性)。平成21年5月以降、本市では、B型インフルエンザウイルスは検出されていませんが、平成22年2月24日に国立感染症研究所から、兵庫県神戸市における、B型インフルエンザウイルスによる幼稚園集団感染事例が報告されており、本市でも注意が必要です。
- RSウイルス感染症の報告が14例(0～5歳)あり、年齢階級別では、2歳が5例(35.7%)と最も多くなっています。平成21年第51週(12月14日～20日)以降、過去5年平均値を大幅に上回っています。
- アメーバ赤痢の報告は2例です。本年の累積報告数は4例で、推定感染地域は、インドネシア(バリ)1例と国内3例です。
- 麻しんの報告が、1例(男、60歳代)あり、本年初めての報告です。年報告数は、平成21年が4例、平成20年が106例です。「平成21年の麻しんのまとめ」を第6週週報に掲載していますので、御参照ください。

◆ 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、9.29(381例)で、過去5年の同時期の値と比べて最も高い値となっており、第3週以降、高い値で推移しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ お知らせ

2月24日現在の病原体情報(市内3箇所(市内3箇所)の病原体定点医療機関からの検体より検出された病原体(ウイルスや細菌)の情報)をホームページ(<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000072537.html>)に掲載しましたので、御覧ください。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

(性別、年齢、症状、推定感染地域、推定感染経路の順に掲載)

- 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 2例【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類:麻しん 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68、小児科定点41、眼科定点10、基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.76	52
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9.29	381
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.29	53
	③ 水痘	1.00	41
	④ 流行性耳下腺炎	0.80	33
	⑤ RSウイルス感染症	0.34	14
眼科	流行性角結膜炎	0.70	7

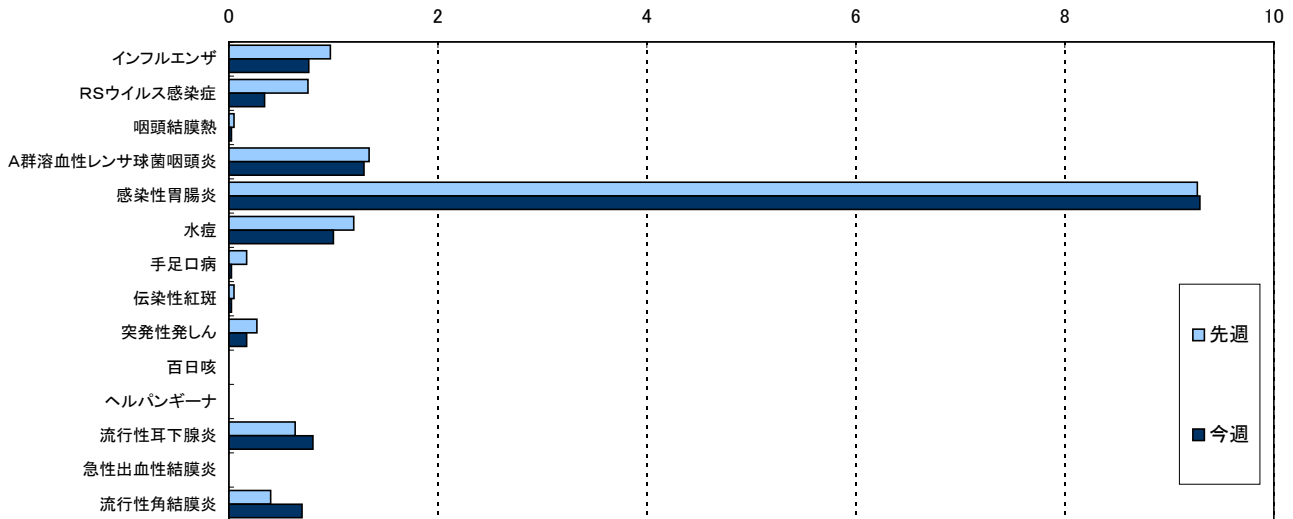
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>

(注)京都市のデータは、平成22年2月25日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。

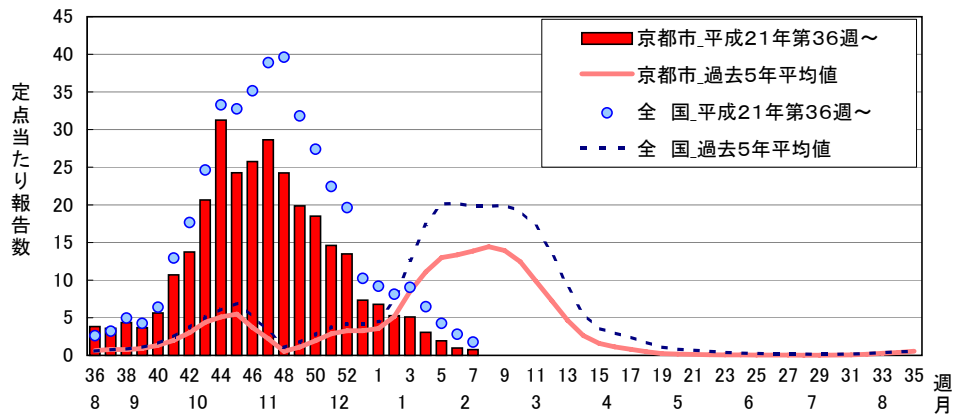
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第7週)と先週(第6週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

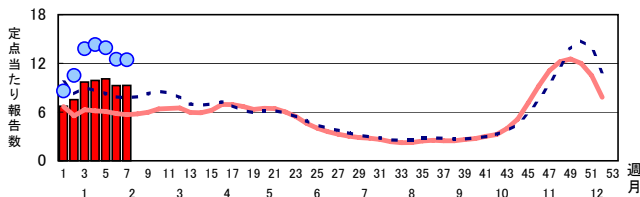
週	報告数(例)
第3週	347
第4週	208
第5週	131
第6週	66
第7週	52
累積報告数 (第36週以降)	20264



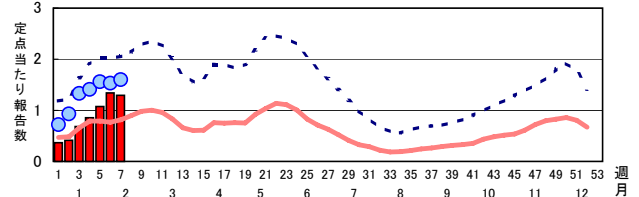
3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

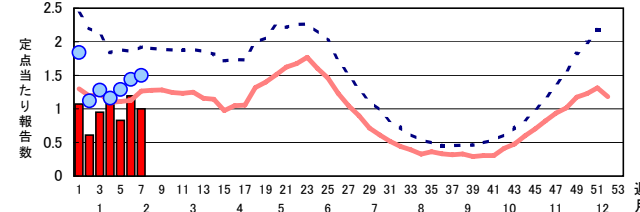
1 感染性胃腸炎



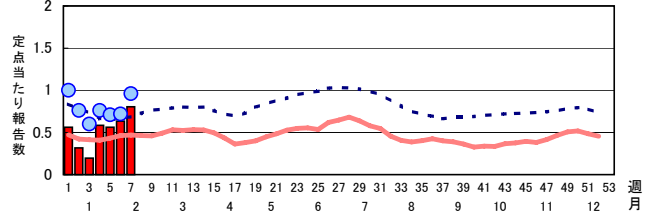
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



3 水痘

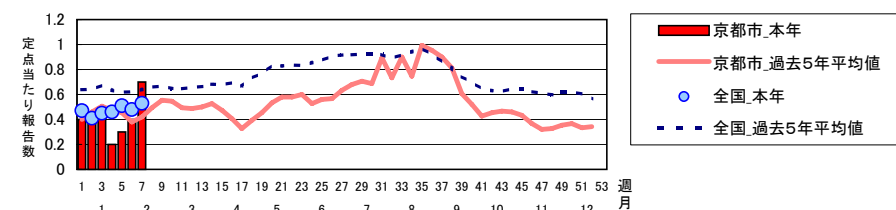


4 流行性耳下腺炎



<眼科定点>

流行性角結膜炎



第7週(2月15日～2月21日)トピックス: <感染性胃腸炎>

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、9.29(381例)で、過去5年の同時期の値と比べて最も高い値となっており、第3週以降、高い値で推移しています。

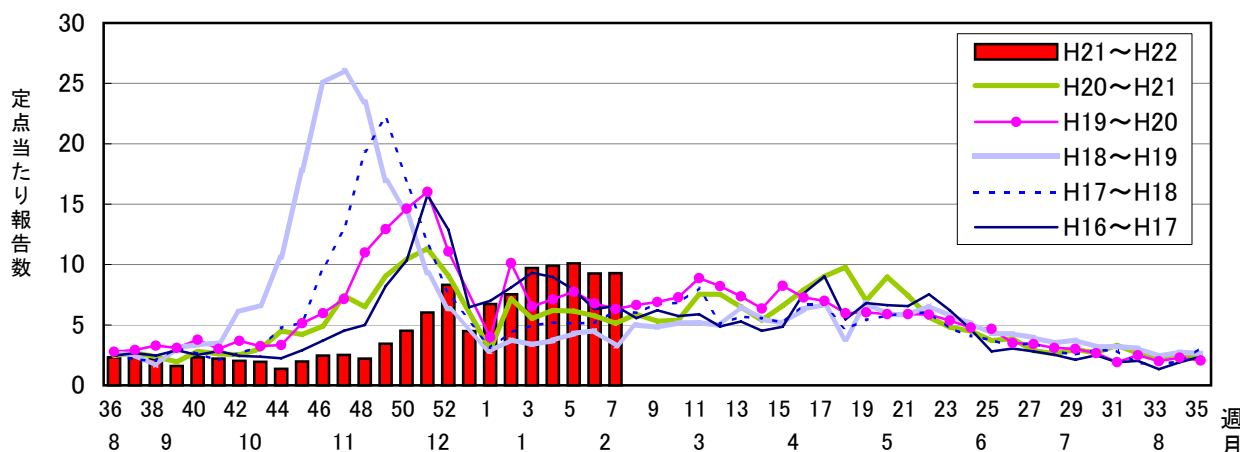
なお、全国の定点当たり報告数は、12.45で、過去5年平均値(7.74)を上回っています。

年齢階級別では、20歳以上で最も多く、次いで1歳及び10～14歳の順となっており、すべての年齢層から報告があります。

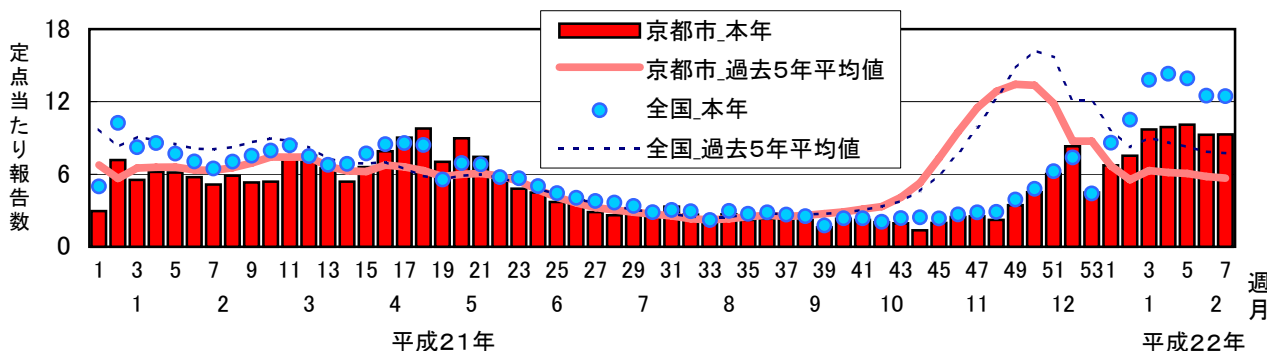
全国の感染性胃腸炎関連のウイルス検出状況を見ると、ノロウイルスGⅡが最も多く検出されています。ロタウイルスは、現在、少数にとどまっていますが、例年、3月から5月に報告数が増加していますので、今後注意が必要です。

京都市衛生公害研究所においても、感染性胃腸炎患者からはノロウイルスGⅡが多数検出されています。

本市のシーズン別定点当たり報告数の推移



本市及び全国の定点当たり報告数の推移



全国の地方衛生研究所からの感染性胃腸炎関連のウイルス検出状況

